

事務事業名	経営健全化事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	経営戦略室	経営戦略係	石川 正道

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	基本目標		人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標		いつでも必要な医療が受けられる		
	めざす成果		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	地方公営企業法			
		医療法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要					
対 象		総事業費（単位：千円）			
市立病院の経営			2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
		事業費	20,682	20,780	22,622
		人件費	11,890	19,354	20,843
目 的		総事業費	32,572	40,134	43,465
・医療サービスを継続的に提供します。 ・病院事業の収支均衡を目指します。		4年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・良質な医療サービスを提供することにより、診療単価を上げて診療収益の増収を図るとともに、費用の削減にも努めていきます。			県支出金		0
			市債		0
			その他		22,622
			一般財源		0
			合 計		22,622
3. 活動内容					
活動指標1	名称	単年度の収支			単位 千円
	内容説明	損益勘定の収入－支出			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	△472,699	△344,521	62,917
		実 績	127,847	945,451	－ － －
活動指標2	名称	診療科代表者会議（ヒアリング）の開催			単位 回
	内容説明	各診療科の代表者を対象に病院長によるヒアリングを実施			
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定	36	48	50
		実 績	24	50	－ － －
活動指標3	名称				単位
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
		実 績			－ － －
活動指標4	名称				単位
	内容説明				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度
		予 定			
		実 績			－ － －

4. 今後の方針等						
今後の方針等	31年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	2年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	3年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	大和市立病院経営計画延伸計画（令和3年度から4年度）に基づき、病院の経営状況の共有に向けて、毎月定例の経営企画会議及び同会議の下部組織として医師部会を立ち上げ経営状況を発信するとともに、各所属にて業務改善を進める等、院内全体で経営の健全化を図ります。 【第2期「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	31年度	2年度	3年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	現在、地方公営企業法の一部適用として運営しているため、市が関与する必要性が高い状況です。なお、総務省は公立病院経営強化ガイドラインにおいて、公立病院の経営形態のあり方として、全部適用化や地方独立行政法人化、指定管理なども選択肢として検討するよう提示しています。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	31年度	2年度	3年度	C：成果を上げる余地が多くある。
	C	C	C	不採算医療等への繰入金を除き、自主自立した病院経営を目指すため、経営改善の余地があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	31年度	2年度	3年度	B：経費を節減できる余地が一部ある。
	B	B	B	不採算医療等への繰入金を除き、自主自立した病院経営を目指すため、経営改善の余地があります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	31年度	2年度	3年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	診療報酬は公定価格のため、受益負担は適正です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	31年度	2年度	3年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民参加手続きや情報提供など、必要に応じて行っています。

事務事業名	出納事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	経営戦略室	経営戦略係	石川 正道

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		人の健康・いつまでも元気でいられるまち			
	個別目標		いつでも必要な医療が受けられる			
	めざす成果		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている			
根拠法令	名 称	地方公営企業法				
		医療法				
当該事業の法令等による義務付けの有無		有				
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間	
					設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
市立病院利用者、金融機関及び債権者（請負業者等）		2年度（決算額）	3年度（決算額）	4年度（予算額）
	事業費	31,739	31,890	34,718
	人件費	17,834	17,866	16,377
目 的	総事業費	49,573	49,756	51,095
適正かつ的確な収入・支出事務を行うことにより、市立病院の健全で安定的な経営につなげます。	4年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 病院の収入及び支出を財務会計システム処理することなどにより、収入額を適切に把握するとともに、支出事務においても審査から支払い手続きまでの処理を的確に行うなど、収支状況の適切な管理を徹底します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		34,718
		一般財源		0
		合 計		34,718

活動指標1	名称	収入・支出命令書等の確認・審査			単位	件
	内容説明	支出負担行為書・支出命令書等の伝票審査件数				
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定	21,000	21,000	21,000	
		実 績	20,443	20,627	―――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		2年度	3年度（当該年度）	4年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続	3年度	I：現状のまま継続
	適正な執行がされるよう、適切な審査を行います。					